

社会福祉法人かも福祉会 令和2年度事業計画

世界を見渡すとイギリスのEU離脱やアメリカと中国の貿易戦争、元徴用工の補償に端を発した日韓関係の悪化、アメリカとイランの対立、地球温暖化による大災害の多発、新型コロナウイルスの世界的感染の拡大など枚挙にいとまがないほど世界情勢は混とんとしており、日本政府においても難しいかじ取りが迫られている。特に新型コロナウイルスの動向は、介護事業所の収入に直結してくる可能性があるため注視する必要がある、予防対策として、うがい、手洗い、マスクのほか、手すり等のアルコール消毒、定期的な室内の換気など現時点でとれる予防対策を最大限行っていく。

一方、国内に目を向けると、全国的に幅広い業種において人手不足が蔓延しており、特に介護業界にあっては深刻で、事業を縮小するところも出始めている。こうした中、かも福祉会においても職員募集をかけても思うように応募がない状況となっており、宇寿荘の一般型への転換も人員不足により再び延期せざるを得ない状況となっている。このため人手不足解消のためにはアクティブシニアの活用や外国人労働者など多様な人材の参入も考慮すべきかもしれない。また、2階の空床を解消するため浴室等の整備などに努めるとともに、建て替えに向けた要望を雲南市に行っていく。

併せて、認知症高齢者の増加に伴い認知症高齢者の特性を踏まえた適切な対応に加え、介護ニーズの多様化に対応するため、質の高いサービスを提供することは、我々社会福祉法人の使命となっており、研修会等を通じて質の向上に努めていきたい。

また、地域の一員として地域貢献にも積極的に取り組み、信頼される「かも福祉会」を目指していく。

1. 基本方針

かも福祉会は、“心のこもったサービスで地域に貢献する”ことを基本理念とし、ご利用者に満足していただける質の高いサービスを提供する。

また、行政や他機関との連携を図り、リスクマネジメントとコンプライアンスを実行しながら、安心・安全な福祉サービスを提供する。

2. 基本目標

- ご利用者やご家族のニーズに応えるべく質の高いサービスを提供する。
- 次代を担う人材の育成に努める。
- 全職員が経営意識を持ち、経費節減に努める。

法人本部

1. 各種会議の開催
 - ・理事会
 - ・評議員会
 - ・監事監査
 - ・内部監査
 - ・運営会議（管理職）
 - ・部長会議

2. 法人役職員研修の実施
 - ・法人役職員研修
法人役員セミナー、監事研修等
 - ・職員研修
全体研修（交通安全、救急法、感染症、人権等）

3. 遊和会（互助会）事業
 - ・納涼祭
 - ・新年会
 - ・スポーツ大会等

4. ふれあい祭りの開催

5. 広報事業
 - ・「福祉会だより」の発行
 - ・ホームページの更新

- ☆ 特別養護老人ホーム 笑寿苑（入所定員50名）
- ☆ 地域密着型 特別養護老人ホーム 笑寿苑（入所定員20名）
- ☆ 短期入所生活介護 笑寿苑（入所定員10名）

★ キャッチフレーズ

笑顔 あふれる 笑寿苑 ～すべてはご利用者のために～

★ 基本方針

- 明るく家庭的な雰囲気の中で心地よい温もりのある生活環境を提供する。
- 地域や家庭との結びつきを重視した運営を行い、利用者一人ひとりの生きがいや楽しみを追求し、その人らしく心豊かに暮らせるよう、寄り添うケアを実現する。
- 日常生活からの「気づき」を大切にケアの向上に努める。「利用者本位」「自立支援」を目指し、満足していただけるサービスを提供する。

★ 事業計画

1. 事業の安定経営

- ①長期は47.5名以上、ユニットは18.5名以上、短期は9.0名以上を目標に掲げ、介護収入の確保に努める。
- ②ご利用者の重度化に伴う健康管理や感染症予防対策に重点を置き、事業経営の安定化を実現していく。
- ③利用申込者の状態把握を定期的に行い、空床発生から10日間を目安に新規受け入れを行う。
- ④事業の継続・発展のために、収益確保、経費節減意識を全職員が持ち、日々実行する。

2. ご利用者の安全対策・環境整備

- ①火災・震災・その他の災害から、ご利用者、職員の命を守ることを目的として、防災意識を高め定期的に防災訓練等を実施する。
- ②施設の老朽化に対応し、設備の維持管理及び必要な修理・修繕を行い安全対策に努める。
- ③ご利用者の状態に合わせた環境整備を行い介護事故の未然防止に努め発生時の迅速対応・検証等リスクマネジメントの充実を図る。
- ④福祉用具の活用を推進し、ご利用者にも職員にも負担の少ない介護を目指す。

3. ご利用者へ質の高いサービスの提供

- ①「笑寿苑で最期を迎えたい。」というご利用者やご家族の意向がある場合は、その意向を尊重し、人生の最期をその人らしく迎えられるよう支援する。
- ②感染症対策委員会や衛生委員会を中心に感染症(インフルエンザ、ノロウイルス等)及び食中毒の発生防止、まん延を防ぐ。

- ③「身体拘束廃止」「感染対策」「事故防止」等各委員会を定期開催し、ご利用者が日々の暮らしを安全に安心して送れる体制づくりを進める。
- ④施設内外の各種研修会に積極的に参加し、ケアの質の向上を図る。また、年1回苑内で実践研究発表大会を開催し、ご利用者のより良いケアを追及する。
- ⑤ユニット（地域密着型）においては、2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、地域住民や保険者、ご家族等に提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスにすることによってサービスの質の向上に繋げる。

4. 地域との連携

- ① 家族会の協力を得て、ちょっこし外出を継続しご利用者の意欲、満足感を引き出す。
- ② 小中学生・高校生との交流を促進し、実習生やボランティアを積極的に受け入れ、地域社会とのつながりを深める。
- ③ 関係機関や地域との連携を密にし、施設の機能を積極的に地域に提供し、地域福祉の拠点としての役割を果たしていく。

5. 情報提供 相談苦情への対応

- ①年1回以上、アンケート調査（顧客満足調査）を行い改善に役立てるとともに、要望や苦情に対しては迅速かつ丁寧な対応を行う。
- ②苦情相談窓口の設置及び苦情解決相談員(第三者委員)を配置し、年1回苦情検討委員会を開催し助言を頂く。
- ③笑寿苑広報「にこにこ便り」の定期発行、ホームページで行事の様子を公表するなど、タイムリーに施設情報を公開する。

6. 介護（看護）人材の安定的確保

- ①働きやすい職場環境の構築。
- ②就職フェア等の参加者や介護実習生に対して就業を働きかける。
- ③ホームページを活用し、施設職員として“介護の魅力”を外部へ向けて発信する。

★ 年間行事予定

4月	花見会	7月	夏祭り	10月	運動会・福祉祭	1月	新年会
5月	節句会	8月	七夕会	11月	ドライブ	2月	節分祭
6月	笹巻き	9月	敬老会	12月	忘年会・クリスマス会	3月	ひな祭

○季節感のある行事を行う

餅つき 笹巻き そうめん流し おやつバイキング
花見ドライブ 紅葉ドライブ

【お楽しみ活動】 カラオケ 野菜作り 園芸

【各種訪問】 歌 踊り など

養護老人ホーム 宇寿荘（入所定員 80 名）

★ キャッチフレーズ

「楽しみ・生きがい・絆」を大切に、笑顔が集う宇寿荘

★ 基本方針

職員一人ひとりが成長し能力を発揮して、ご利用者の立場に立った思いやりのあるケアを実践し、ご利用者・ご家族・地域の方々に信頼される施設作りを目指す。

★事業計画

1. 経営基盤の安定

- ① 関係機関や職種間の連携を強化して入居率を向上させ、安定した経営基盤を構築する。
- ② 「生きがい活動」を通じて心身機能低下予防や認知症予防を実践し、ご利用者の健康増進を図る。

2. ご利用者・ご家族・地域の方に信頼される施設作り

- ① 接遇マナーの向上やプライバシー配慮に努め、ご利用者の立場にたった個別支援を実践する。
- ② ご家族との連携を密に図り、ご利用者の精神的な安定を図っていくとともにご家族との信頼関係を構築する。
- ③ 地域交流を促進して開かれた施設づくりを実践するとともに、地域貢献の取り組みを実践する。

3. 業務効率の改善とリスクマネジメントの構築

- ① 全職員が経営参画意識を持ち業務改善に取り組み、業務効率化を図る。
- ② 感染症・介護事故・苦情発生・自然災害・施設設備故障などのリスク対策を講じ、事業の健全化と安全化を図る。

4. 人材育成の強化

- ① 全職員が共通の目標に向かい、施設内外の研修参加や勉強会を実施して、現場の課題解決にあたる。
- ② 職員間で認め合い信頼関係を築き、チームケアを実践していく。
- ③ 介護支援専門員や介護福祉士などの資格取得に向け、奨励していく。

★行事予定

4月	花見	10月	遠足、グランドゴルフ大会
5月	遠足、節句	11月	地域交流会、衣類販売、避難訓練
6月	創立記念事業、家族会、衣類販売	12月	忘年会、クリスマス会、歳末法要
7月	納涼祭、避難訓練	1月	新年祝賀会、初釜
8月	七夕会、盆法要	2月	節分祭、鍋会
9月	敬老祝賀会、彼岸法要	3月	ひな祭り、大社参拝、彼岸法要

*健康体操、ラジオ体操、いきがい活動は毎日実施。誕生会は毎月実施。

利用者健康診断は年2回実施。

デイサービスセンター 愛あいの家 (利用定員12名)

★ キャッチフレーズ

「個性と趣味を生かした笑顔あふれるふれあい広場」

★ 基本方針

1. ご利用者の思いを尊重しつつ心身の状態に合わせ積極的な個別ケアを実践する。
2. 専門性のある認知症ケアを実践し、精神的負担の軽減を図れるようなサービス提供に努める。
3. 宇寿荘との連携を図り安定した利用者確保に努める。

★ 事業計画

1. ご利用者の確保と安定的な運営
 - ① 1日平均利用者数10名を目標とし、安定した経営基盤を確保する。
 - ② 全職員が経営参画意識を持ち、日々の業務の中で経費節減を心がける。
2. 職員の資質向上と人材育成
 - ① 接遇面での意識向上と、認知症に対する専門的知識を習得するため、施設内外の研修を通じて人材育成をする。
 - ② 個々のニーズを共有し、専門性を生かした質の高いサービスを提供する。
3. 地域との連携強化
 - ① 職場体験研修・ボランティアなどの受け入れをして、地域交流を促進する。
 - ② 運営推進会議を年2回実施するとともに、地域に開かれた事業所を目指す。
4. ご利用者の安全と健康管理
 - ① ご利用者個々の状況を把握すると共に、介護事故防止に努める事で安全に配慮したサービスを実践する。
 - ② インフルエンザやノロウィルスなどの感染症予防に努め、衛生管理と感染症対策に取り組む。

★ 行事予定

4月	～	花見会 (おやつ作り)	10月	～	運動会 (おやつ作り)
5月	～	園芸週間 (花、野菜作り)	11月	～	季節の煮物作り
6月	～	端午の節句 (団子作り)	12月	～	クリスマス、忘年会 (鍋会食)
7月	～	行事食作り (焼きそば作り)	1月	～	新年お茶会
8月	～	七夕会	2月	～	節分会
9月	～	スポーツレク ・敬老会	3月	～	雛祭り会

- ・年間を通じて季節感を味わって頂けるような雰囲気作りや、ご利用者が満足感を得てもらえるような環境作りに配慮しながら行事提供を致します。

ヘルパーステーションかも

★ キャッチフレーズ

『まごころと笑顔のヘルパーステーションかも』

★基本方針

重度化する要介護者が可能な限り居宅において、能力に応じた日常生活を営む事が出来る様に訪問介護事業を中心として、障がい者の自立支援や高齢者世帯の生活支援を行うため、訪問介護員の質の向上を図りながら「まごころと笑顔」でサービスを提供する。

★事業計画

1. 居宅介護支援事業所等との連携

- ・居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、相談支援事業所との連携に努め、安定したサービス提供に努める。

2. 資質の向上

- ・ご利用者の状態にあったケアやご家族に対する指導・助言が行えるよう訪問介護員の資質向上を図る。
- ・各種の研修会に出席し、スキルアップを図っていく。
- ・サービス提供後のモニタリングやケース検討会を行い、サービスが適切であったかどうかの確認・評価を行う。
- ・アンケート調査を実施し、その結果を以後のサービスの向上に役立てる。

3. リスクマネジメントの徹底

- ・リスクマネジメントを図る観点から報告、連絡、相談等の徹底を図る。
- ・ご利用者及びご家族のニーズに合わせた指導やリスクマネジメントで事故の防止を図る。
- ・毎月ヘルパーミーティングを開催し、情報の共有化を図る。

4. 情報の発信

- ・広報誌を年1回発行し、情報発信に努める。

5. 地域との連携

- ・認知症高齢者が住み慣れた地域で生活出来る様、地域との連携や支援を積極的に図る。

6. 事業運営の安定化

- ・要介護者の入院・入所等による利用回数の減少が見込まれることから宇寿荘や居宅介護支援事業所等との連携を図って収益の確保に努め、事業運営の安定化を図る。また、各種研修会に積極的に参加し、介護技術の習得や資質向上を図る。

7. 事業別1ヶ月訪問計画

介護給付	総合事業	自立支援	合計
210回	25回	115回	350回

加茂デイサービスセンター（利用定員35名）

★ キャッチフレーズ

『 一人ひとりの思いに寄り添う加茂デイサービスセンター 』

★ 基本方針

住み慣れた地域での在宅生活が継続できることを目指し、

- 1 個々の状態を把握し、専門的なサービスを提供することで、心身機能の維持向上を図る。
- 2 生きがいや楽しみを見出し、孤立感を解消し、地域交流を図りながら生き生きとした生活が送れるよう支援する。
- 3 職員間やご家族等との連携を図り安心、安全な生活が送れるよう支援する。

★ 事業計画

1. ご利用者の思いに寄り添える自立支援と個別ケア
 - ・役割や生きがいが引き出せる活動プログラムや主体的に取り組めるプログラムを提供する。趣味や経験が活かせる内容のクラブ活動を推進する。
 - ・ドライブ、小旅行、ショッピング、外食などご利用者の希望に添える外出支援を実施する。
 - ・アンケートを実施し、ニーズの把握に努める。
2. ご利用者の確保と安定的な運営
 - ・1日の平均利用人数30人を目標に安定した収入を確保し、経費削減意識を全職員が持ち業務の見直しを行っていく。
 - ・包括支援センターや居宅介護支援事業所との連絡を密におこない利用者の確保に努める。
3. 資質向上及び人材育成
 - ・中重度の方や認知症の方、機能訓練や口腔機能向上を目指す方へ専門的なサービスが提供できるよう、積極的に施設内外での研修に参加し、職員の資質向上を図る。
 - ・入浴・排泄・接遇委員会を活用し、ご利用者に対しての接遇の向上を図る。
 - ・研究発表に取り組むことで、サービスの向上と職員の資質向上を目指す。
 - ・職員の自己評価、個人面談を実施し、振り返りを促して以後のサービスの向上に役立てる。
4. ご家族との連携及び支援
 - ・家族会を年1回、介護者の集いを月1回開催し介護者の思いを共有し家族支援に努める。
 - ・広報誌を年4回と専門職の知識を生かした情報誌を発行し、情報発信に努める。
 - ・外出時の家族ボランティアを募り、家族との交流を図る。
5. ご利用者の尊厳を守り安心、安全な生活の確保
 - ・医療機関、他事業所との連携を図り、個々の状態を把握し支援する。
 - ・リスクマネジメント委員会を開催し、環境整備や備品の点検を行うことで介護事故の予防に努める。
 - ・ご利用者、職員の手洗い、消毒を徹底し、感染症予防に努める。

6. 地域貢献・地域交流

- ・小学生の訪問、中高生の職場体験やボランティアの受け入れ、実習の受け入れを行う。
- ・地域行事への参加、児童クラブや地域で活動している方を積極的に受け入れ、地域との交流を深める。
- ・介護者の集いの参加対象を地域の方へと幅広く広げ実施する。

★ 行事予定

4 月	花見ドライブ	10月	運動会 小旅行
5 月	小旅行	11月	紅葉ドライブ 小旅行
6 月	笹巻作り 小旅行 運動会	12月	忘年会（鍋）クリスマス会
7 月	夏祭り ショッピング	1 月	初釜、初詣
8 月	七夕祭り 児童クラブ交流	2 月	節分
9 月	敬老会 小旅行	3 月	ひな祭り

★ サービス利用計画（1ヶ月）開所日数 308日

介護給付	総合事業	合計
565回	135回	700回

デイサービスセンターほほえみ（利用定員12名）

★ キャッチフレーズ

『 笑顔で楽しく生き生き だれもが主人公 』

★ 基本方針

認知症である利用者の心身の特性を踏まえて必要な日常生活上の支援及び生活機能の持続又は向上を目指す。

- ① 利用者に寄り添ったケアを心がけ、穏やかに生活を送れるよう支援する。
- ② 本人の活躍の場を活かしたり、趣味活動を通して楽しみのある生活を送る。
- ③ ご家族、事業所との連携を図り利用者の安全、健康管理に努める。
- ④ 地域との連携や交流を図り、地域に開かれたサービスを行い運営の透明性を確保する。

★ 事業計画

1. 日常生活上の支援

- ・利用者に合った趣味、活動を取り入れ日中楽しく生き生きとした時間を過ごしていただけるように努める。
- ・ご家族との連携を図り状態把握と相談・助言をしながら、介護負担の軽減に繋がるよう支援する。

2. 利用者の確保と安定的な事業運営

- ・地域包括支援センターや居宅介護支援事業所と連携を図り、1日平均利用者数10人を目標に安定した収益確保と経費節減に努める。

3. 職員の資質の向上及び人材育成

- ・認知症の方への専門的サービスが提供できるよう施設内外での研修に参加し資質向上を図る。
- ・毎月接遇目標を掲げ、ご利用者の立場に立ったケアを行い、職員の意識向上に努める。
- ・自己評価、個人面談を実施して振り返りを促し、以後のサービスの向上に役立てる。
- ・資格取得を奨励し、一段のスキルアップを図る。

4. 利用者の安全、健康管理に努める。

- ・主治医、他事業所と連携を図り個々の状態を把握する。
- ・手洗い、うがい、消毒を徹底し感染症の予防（インフルエンザやノロウイルスなど）に努める。
- ・口腔ケアを実施し、口腔機能の維持と健康状態の維持に努める。
- ・避難訓練に参加し、災害時に備える。

5. 情報の提供及びご家族への支援

- ・家族会を年1回と介護者の集いを月1回開催し、家族支援に努める。
- ・広報誌を年3回発行し、情報発信に努める。

6. 地域との交流と連携

- ・ふれあい祭への参加、利用者の作品展示を通じて地域との交流を図る。
- ・職場体験、実習の受け入れ、ボランティアの受け入れや小学生の訪問、児童クラブとの交流を図る。
- ・運営推進会議を年2回開催して運営状況等を報告し、要望、助言等を頂き、地域に開かれた事業所を目指し、質の向上に繋げる。

7. アンケート調査の実施。

- ・アンケート調査を実施し、サービスの向上に役立てる。

★ 行事予定

4 月	花見ドライブ	10月	ミニ運動会・カレー作り
5 月	ドライブ・ミニ運動会 チャレンジデー参加	11月	ドライブ・家族会 おやつ作り（蒸しパン）
6 月	笹団子作り・花植え	12月	クリスマス会・忘年会（鍋会） チャレンジスクール交流
7 月	カレー作り・避難訓練	1月	新年会（初釜）
8 月	七夕飾り・児童クラブ交流 保育園児との交流	2月	節分（ちらし寿司作り） 児童クラブ交流
	おやつ作り（フルーチェ）	3月	ひなまつり（お好み焼き）
9 月	敬老会 ・創作活動・花植え		

○家族会（年1回）・運営推進会議（年2回）

★ サービス利用計画（1ヶ月）開所日数 308日

介護給付	予防給付	合計
198回	0回	198回

かも福社会居宅介護支援事業所

★キャッチフレーズ

『地域と共に、住み慣れたご自宅で、思いに添った暮らしをサポートします』

★基本方針

利用者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるよう、行政を始め各関係機関との連携を図り、公正・中立な立場で、“利用者本位” “自立支援”に向けて質の高いサービスの提供に努める。

★事業計画

1. 法令遵守に則ったケアマネジメントの遂行
常に法令を遵守し、公平な立場で業務を遂行していく。
2. 利用者の確保
・地域包括支援センター等との連携を図り、利用者の確保を図る。
3. 適切なケアプランの作成
・重度になっても、ご利用者及びご家族の望む生活を実現するため、多職種が協働し、在宅での生活を継続できるよう適切なケアプランの作成に努める。
4. 資質の向上
・各種の研修会に参加し、資質の向上を図る。また、加算取得要件を満たすため、個別具体的な研修の目標・内容・研修時期・実施時期等について定め実施する。
5. 地域貢献
加茂町地域ケア会議・給食会議等に参加し、民生児童委員・地域の方と今後のまちづくり・地域包括ケアシステムの構築に協力していく。
6. 情報の共有化
・定期的に課内ミーティングを開催し、個別ケースの検討、情報の共有化を図る。
7. 医療等との連携
病院・かかりつけ医・施設との連携を図り、ご利用者の入退院時の情報の共有化を図ることにより、退所後もスムーズなサービス提供に努める。また、必要な加算の算定につなげていく（医療連携加算、退院・退所加算）。
8. アンケート調査の実施と広報誌の発行
・アンケートによる意向調査を実施し、業務の改善につなげる。
・広報誌を年1回発行し、介護保険等の情報を発信する。
9. リスクマネジメントの徹底
定期的なアセスメントに加え、関係機関への情報提供、連絡・調整を行うことでリスクを予測し、未然に防ぐ。事故が起こった場合には、迅速に対応する。

10. 苦情への対応

ご利用者・ご家族からの苦情等を真摯に受け止め適切に対応していく。

11. 1ヶ月のケアプラン作成等計画

介護給付	予防給付	合計	訪問調査
123件	30件	153件	7件

かも社会就労センター（利用定員30名）

★ キャッチフレーズ

『 希望と安心と充実できる就労の場を提供します 』

★ 基本方針

利用契約に基づき、利用者の人権・人格・意思等を尊重した就労の場を提供し、生産活動等を通じて、対人関係・能力向上のために必要な訓練を効果的に行うことで、労働意欲や労働の喜びを感じ、社会の一員としての自覚を持って生活が送れるよう支援をする。また、職場の安全に留意し、健康と体力の向上に努め、個々の障がいに適した対応を行う。

★ 事業計画

1. 利用者の安定確保

- ・定員数は確保されているが、圏域の相談支援事業所及び行政や関係機関との連携を深め利用者数常時34名以上を目標とする。

2. 工賃の増加

- ・安定した作業を提供し利用者の工賃に反映する。

3. 一般就労への移行支援

- ・雲南障がい者就業・生活支援センターアーチと連携し、職場実習を実施、一般就労に移行できるよう支援していく。

4. 実習生受け入れ

- ・出雲養護学校三刀屋分教室、ホームケア島根、トリニティ出雲医療福祉専門学校、山陰中央専門大学校等の実習生を受け入れ、障がい者との交流を通して理解を深めてもらう。

5. 利用者の安全確保

- ・雲南消防署と連携し防火訓練(年2回)、土砂災害避難訓練(年1回)を行う。

6. 職員の質の向上

- ・質の向上のため各種研修会に積極的に参加しスキルアップ向上を目指す。

7. 地域交流

- ・茶話会や一日研修旅行など、作業だけでなく楽しみや意欲向上につながる行事を企画する。幼児・ボランティア・地域住民と交流の機会を提供する。

8. 作業内容

- ・生産活動を通して、工賃の支払いを行い、生活の充実を図る。

① 施設外就労（掃除・洗濯）

特別養護老人ホーム(笑寿苑)

養護老人ホーム(宇寿荘)

② 企業受託

(株)協栄ファスナー工業(車部品組立)・(株)ソノ(タオル等製品)・(株)山光(車部品組立)・

ナカバヤシ(株)(文具組立)・(有)小早川製粉(薬味詰め)・テクノマーチ(菓子詰め)・
ヒカリ電子工業(株)(入浴剤等詰め)・シンメイ(食品容器包装)・小早川(蕎麦薬味)

③ 信書便事業

雲南市役所～雲南市内各総合センター・図書館への文書等の配達
加茂町自治会行政連絡員への文書配布

9. 行事予定

月	行事等	月	行事等
4月	桜花見	10月	秋の研修旅行 実習生受入
5月	春の研修旅行・チャレンジデー	11月	避難訓練・職場実習
6月	避難訓練・笹巻き	12月	忘年会
7月	実習生受入	1月	新年会
8月	七夕茶話会	2月	健康診断
9月	音楽鑑賞(民謡)	3月	家族会・土砂災害訓練

かも社会就労センター 障害者相談支援事業所

★ 基本方針

社会資源を有効に活用しながら、社会の一員として生活が送れるよう相談支援を行う。

★ 事業計画

⑤ 利用計画の作成

個々の利用者に寄り添いできるだけ希望に沿った支援計画を提供する。雲南市と基幹相談支援センターと連携を取りながら依頼があれば新規の計画相談を行う。

⑥ 職員の質の向上

各種研修会に参加し相談支援技術の向上に努める。

かも福祉会館「つつじホール」管理運営事業

★基本方針

社会福祉法人としての使命から地域に貢献するため、会議室等を安価で提供する。

★事業計画

「つつじホール」2階を市民の皆様に広く貸し出し、葬儀や会議、研修会等に活用していただく。

加茂健康福祉センター「かもてらす」

★事業内容

雲南市委託事業（指定管理事業）

★基本方針

雲南市指定管理条例及び契約に基づき「ふれあいとまごころ」を念頭に置き、子供から高齢者までの健康づくり活動と、交流の場として施設の活用を図り、保健・福祉活動の拠点として利用を促す。

★事業計画

①着実な指定管理業務の遂行

指定管理元から信頼されるよう安全・安心を心掛け、日常業務を遂行する。

②施設の利用促進

浴室や会議室等の利用促進のため、ホームページ等を活用してPRに努める。